






調 査 名

ボーリングNO.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名		NO.1-1(右岸)		調査位置						北緯		36° 32' 34.0000"													
発注機関		栃木県鹿沼土木事務所				調査期間		2007-12-26 ~ 2008-03-21				東経		139° 41' 32.0000"											
調査業者名				主任技師				現代場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者											
孔口標高		164.59 m		角				方向				地盤勾配				使用機種		試錐機				ハンマー落下用具			
総掘進長		9.12 m		度				方向				地盤勾配				使用機種		エンジン				ポンプ			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分 孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取			室内試験	掘進月日	
											深度	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度	試験名および結果	深度	試料番号			採取方法
												0	10								
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)		(m)								
	164.19	0.40	0.40		シルト(M) 礫混り粘性土 (C-G)	暗褐色			上部5cm腐植土。軟弱層。含水比は中位。 粘着中位となり、全体に少量の細砂混じる。 礫径2から10mmの角礫少量混じる。極少量の腐植物混じる。 含水比は中位から高位。		1.15 1.48	1/21 1/12	2/33	2							
1						暗褐色				02/13 2.48 三	2.15 2.47	2/12 2/13	1/7 5/32	5							
2	162.49	1.70	2.10		粘土質砂礫 (GSC)	暗褐色			礫径2から25mmの角礫、風化礫主体となる。 礫間粗中砂、粘土にて充填。全体に細くルーズ。 3.00から3.70m含水比やや高位。色調は暗褐色主体で、全体に褐灰色強く帯びる。		3.15 3.45	3/12 2/11	1/7 6/30	6							
3	160.69	1.80	3.90		風化頁岩 (Sh)	暗褐色			全体に風化やや激しい。全体に亀裂多く、礫、岩片状コア主体で、一部粘土化する。		4.15 4.45	5 6	6 6	17/30	17						
4	159.99	0.70	4.60		頁岩 (Sh)	暗褐色			コアは5から15cmの柱状主体。全体に風化変質する。 岩質は変質によりやや脆い。亀裂の粘土化が見られる。 含水比は中位から高位。 8.20mより暗灰色の柱状コア主体となりやや新鮮な岩となる。 岩質は硬く、叩くと高い音がする。 *ヘアーラックを含む亀裂が多く見ら		5.15 5.43	14 16	20/8 50/28	>50							
5											6.15 6.31	23 25	27/6 25/4	50/16 50/14	>50						
6											7.15 7.29	25 25	25/4 50/14	>50							
7											8.15 8.22	50/7 7	50/7	>50							
8											9.00 9.12	29 29	21/2 50/12	>50							
9	155.47	4.52	9.12															02/14			